

第3回 北杜市立長坂中学校 学校運営協議会 記録

- 1 開催日時 令和6年2月2日(金) 14:30～
- 2 開催場所 北杜市立長坂中学校 会議室
- 3 参加者 通学地区の住民 小林 新吾 堀内 敏光 モリーナ令
堀内 伸浩 松山 光 松井 幸澄
長坂中学校 校長:板山 俊彦 教頭:飯野 敦 教務主任:小林 敏徳
- 4 日程 14:20～14:30 日程説明
14:30～15:20 授業参観【6校時】
(休憩)
15:30～16:45 協議

5 協議

(1) はじめのことば(飯野教頭) 司会:飯野教頭

(2) 会長挨拶 (堀内敏光会長)

(3) 校長挨拶 (板山校長)

(4) 議事 (板山校長より提案)

①学校経営の状況について

質問① 長坂中学校での「長期欠席」の生徒への様々な対応の様子が分かった。北杜市でも「ネウボラ推進課」を中心として、要支援者への「切れ目」のない対応を進めているようだが、その成果はどのような状況なのか。

校長 経済的・医療的な分野において、家庭との「つながり」を確保するという点で成果が出ている。関係者や専門家と「つながること」が大切であると考え。今後も個々が抱える課題に対して各方面と連携しながら、適切であると考えられる取り組みを継続的に行っていく。

質問② 「ネウボラ課」を始めとする関係機関との具体的な連携方法について伺いたい。

校長 事例ごとにケース会議を設定する。学校を始めとする関係機関が持っている情報を共有し、それをもとにSSW等の専門家より具体的な対応方法に関する助言を受ける。定期的にケース会議を開催し進捗状況を確認したり、対応方法を修正したりしていく。

②学校評価について

質問③ 保護者からの意見(自由記述)の「1」「6」「13」が気になる。

校長 学校評価(保護者対象)を実施するにあたって、本年度は記名式にした。その理由は寄せられた意見や質問に関して、校長が直接説明し理解を得るためである。ご指摘のあった3つのご意見を含め、本年度は6つのご意見に対して電話にて対応をした。その結果、当該のご家庭からは、理解が得られたと判断している。

質問④ 学校に登校できない(他の生徒と一緒に学習することが難しい)生徒が学習支援を受ける

場としては、どのような場（方法）がありますか。

校長 以下のような支援の場所（方法）がある。

- ・学校内の支援ルーム（校内オンラインによる授業や個別の授業）
- ・「エール」（北杜市教育支援センター）
- ・自宅でのオンライン授業
- ・民間のフリースクールや通信による授業（N中等部）等

※中学校の場合は教科担任制をとるため、学校生活全般において生徒個々への対応は難しい面がある。

③令和6年度「教育課程」について

- ・長坂中学校グランドデザイン
- ・年間行事予定
- ・令和5・6年度からの変更点

(例) 完全下校時刻の変更・「白藤祭」の実施時期並びに内容の変更

2年生の職場体験学習を1学期中に実施・自転車通学条件の変更

女子生徒の制服（下）の選択制導入・学年PTAの回数を年間3回へ（現状2回）

④来年度の学校運営協議会の組織と計画案について

- ・学校協議委員の役員について

令和5年度 松山 光 様 → 令和6年度 浅井 明 様

令和5年度 松井 幸澄 様 → 令和6年度 清水 良一様（令和5年度PTA会長）

※新しい委員の方に対しては、本学校運営協議会で提案後に学校長が対応する。

- ・令和6年度の第一回学校運営協議会は6月7日（金）から6月3日（月）に変更

第2回目以降の開催日は、運営協議会内において委員の意見を参考にしながら決定する。

意見① 長坂中学校は、災害発生時には地域住民の「避難場所」になっている。地域の方との接点になる。運営協議委員が「避難場所としての長坂中」と「学習の場である長坂中」とをつなげていくことも大切である。

- ・避難所において重要（課題）となるのは「水の確保」である。

- ・以前（旧校舎時）は、中学校の敷地内に「井戸」があった。

校長 来年度は、学校が地域の防災拠点になることを周知することから始めたい。

⑤その他

○長坂中学校同窓会について

副会長の清水様のご逝去に伴い、同じ小泉地区の板山様が同職を担当してくださることになった。

※本校の卒業生、長坂中学校学区在住、校長経験 など

意見② 通信表の表記について「懇談会で話した通りです。」等のわからない表現は誤解を生む可能性がある。要検討。→「2学期は割愛します。」の方が分かりやすい。

(5) 終わりのことば (飯野教頭)

【記録者：教務主任 小林】